

社会福祉法人 十字の園

ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)

発行：(福)十字の園法人本部
理事長 平井 章

住所：〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11
tel 053-414-1400
fax 053-420-2100



浜松十字の園 朝の礼拝

「施設の心の拠り所について」

浜松十字の園 施設長 山本隆弘

今年の十字の園大会のテーマは「キリスト教福祉って何」。施設発表の根拠として行った職員アンケートの中で、問1「あなたはキリスマン？」回答者88名中Yesは9(10.2%)。問3「キリスト教の施設と感じるのはどんな時？」礼拝との回答が77(87.5%)。(複数回答可)。問4「礼拝によって気持ちに変化がある？」Yesは61(69.3%)。「どのような変化がある？」。心が穏やかになる。自分の考えを見つめ直せる。なるほどなと感心させられる。神様の恵みに気づかされ信仰が強められる。等々。問5「礼拝は必要？」Yesは73(83.0%)。

キリスマンが圧倒的に少ない中でも、多くの職員が礼拝を大切なものとして受け止めていることを知りました。退職された先輩方からも、40～50年前も同じ状況だったことを伺い、「礼拝」が心の拠り所であり続けていることに嬉しくなりました。さあ、今日も礼拝から一日を始めましょう。

「兄弟たち、皆一緒にわたしに倣う者となりなさい」

(フィリピの信徒への手紙 3章 17節)

理事長 平井 章

1. ディアコニッセの姉妹たちの生き方

人生のすべてを神さまに捧げ働かれたディアコニッセ・光子姉妹が2018年10月13日に第2アドナイ館にて召天されました。

ディアコニッセとしてムッターハウスに受け入れられた者は、その姓を捨て、



名前にシュベスターの日本語訳の「姉妹」をつけて呼びます。これまで働いてきた仕事を捨てて、家族を捨て、苗字までも捨てて、自分を捨てて神に仕えていくのです。ディアコニッセは、『わたしがあなたがたを選んだ(ヨハネ15:16)』とあるように神様からの召命です。『兄弟たち、皆一緒にわたしに倣う者となりなさい(フィリピ3:17)』の「倣う」とは真似る、見倣うことです。キリストは、『死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした』とあります。「キリストに倣う」とは、そのキリストを真似ることです。その人たちの属する浜松ディアコニッセ母の家によって十字の園老人ホームは創られました。

2. 約束されたものを受け継ぐ人たち

聖隷を創った長谷川保氏とその同労者、十字の園の歴史を創ってきたハニ・ウォルフ姉妹、鈴木生二氏と同労者たちは、『信仰と忍耐とによって、約束されたものを受け継ぐ人たち(ヘブル6:12)』です。『十字の園老人ホームが出来るまで』(西村ミサ著)の中で、ハニ姉妹は「長谷川先生いなくなったら、だんだん人間の力大きくなります。神様の力なしの、人間の力ですようになります。そのときまでもいつまでも、老人ホームは神様の力の大ききさでやりたい。私たち働く人、みんなキリストの十字架のもとでだけ、一つになって働く団体にしたい。」と話しました。十字の園が忘れてはならないメッセージです。

3. 今日の「キリストに倣う」とは

十字の園大会の「キリスト教福祉って何」というテーマは「創立の精神(理念)」や「キリスト教精神」を問う良い機会であり意義深いものでした。10月にFMハローの「つながるネット」に出演したとき、「高齢者福祉と障がい者福祉の違いは」との質問がありました。「福祉は人と人との関わりの仕事です。『わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が準備してくださった良い業のために、キリスト・イエスに造られたからです(エフェソ2:10)』とあるように、みんな神様の創造で、みんな同じ命、かけがえのない命です。みんな違ってはいますが、みんな違っていいのです」と答えました。福祉とは「人と人とながつながり、一人ひとりとなつがる、つなげること」です。これが、私が思う「キリスト教福祉」です。そして今日における「キリストに倣う」とは、十字の園の先達やディアコニッセの姉妹たちの信仰と祈りであり、神に献身的に仕える姿です。

4. 福祉(介護)サービスとは

キリスト教では、「Service(サービス)」という英語を「礼拝」「奉仕」と訳します。それは「神を礼拝する」「神に仕える」ということであり、それは、イエスの場合では、「十字架の死に至るまで神と人に奉仕する」ということです。十字の園の先輩は、この「キリストに倣って」仕え働きました。福祉(介護)におけるサービスとは、障がいや高齢、生活困難な人への社会的な施策をいいますが、福祉に働く人にとっては、「相手に寄り添い、尽くす」ことでしょうか。それを十字の園に当てはめると、一步踏み込んで「神様の力」の大ききさで働くことです。そこで威力を発揮するのが、事業所ごとに配布された「ローズンゲン日めくりカレンダー」です。日々のみ言葉に押し出されて働くことでしょう。

『十字の園からの出発』 今があることに感謝

社会福祉法人十字の園 評議員 兼子邦子

昭和50年12月「社会福祉法人十字の園重症心身障害児（者）施設おおぞらの家」に就職したのが、私の福祉への第一歩でした。初めて触れ合う障害児に戸惑いはしたものの、周囲の温かいご指導と何より利用者一人ひとりの笑顔で驚きと緊張の毎日でした。結婚と同時に退職し、聖隷福祉事業団の保育所で産休代用保母、その後自閉症児の通園施設で6年間運動療法に関わりました。縁あって昭和59年度から東海福祉専門学校教員として就職しました。幼稚園教諭・保育士・社会福祉主事の資格を取得する学校から、平成元年の法制度改正で社会福祉士及び介護福祉士コースも新設して、福祉施設に働く人材を養成する学校として、「当たり前の事は当たり前にする」「全体把握と臨機応変」「準備が勝負」「自分を大切にす」を学生の心得として教育してきました。平成23年定年退職した翌日から、社会福祉法人明和会が袋井市の指定管理で運営している養護老人ホーム「袋井市立可睡寮」の寮長として再就職。「生きがいを実感し、楽しく暮らせる場を提供」をミッションとして私自身も楽しく仕事をさせてもらっています。今回「十字の園の評議員」を受けることになり、顔見知りの皆さまに囲まれて、42年前の古巣に戻ったような安堵感を感じています。十字の園のご縁から今があります。本当に感謝です。ありがとうございます。私も、利用者と同じ年齢になってきましたが、もうしばらく頑張りたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。



「35年 永年勤続によせて」

第2アドナイ館 三輪真理子

私が十字の園に就職したのは昭和56年2月。現在の浜松十字の園がまだ、礼拝堂のある平屋の建物だった頃だ。

一二三姉妹がオリエンテーションのため園内を案内して下さり、120名のお年寄、一人ひとりに声を掛ける姿を真近に見ることが出来た。（今だにお手本だ。）途中、やたらニコニコと働いている寮母さんがいた。「同じ、北海道出身で先輩の白井職員。一日でも早くここで働きたいと、高校の卒業式を待たずに、札幌から出て来てくれたんですよ。」と一二三姉妹が紹介してくれた。私は内心、不安だった。（ここは志を持つ



源七さんと

た人達の集まりなんだ・・・私は志などない。生活のために紹介されて来ただけだし、何よりキリスト教のキの字も知らない・・・）。

しかし、その白井さんに限らず、ほとんどの職員が一緒にニコニコしている。不思議だった。その頃の私は毎日ヘトヘトで（明日こそやめよう！）と毎晩、思っていた。しかし徐々に分かって来た。かたくなな心ではなく、柔らかい笑顔に包まれた柔らかな志を持つ職員と、優しい笑顔を返して下さるお年寄達。そこが十字の園だった。私はそこにたどり着けたのだろうか・・・。



大運動会

第23回十字の園大会 in松崎

主 題『創立の精神(こころ)から新たな福祉に挑戦(チャレンジ)』
 ～既に据えられている土台の上に～
 テーマ『キリスト教福祉って何』

大会目的

今年のテーマ「キリスト教福祉って何」のテーマは、「創立の精神(理念)」や「キリスト教精神」を問う良い機会であり意義深いものです。パウロは「わたしがキリストに倣う者であるように、あなたがたもこのわたしに倣う者となりなさい。(Iコリント 11:1)」とっています。ハニ・ウォルフ姉妹の『長谷川先生いなくなったら、だんだん人間の力大きくなります。神様の力なしの、人間の力ですようになります。そのときまでもいつまでも、老人ホームは神様の力の大きさでやりたい』というメッセージ、「主イエス・キリストよ、あなたの御命令でこの家を建てますから、あなたがこの家の基礎になってください。」の祈りを土台に据えつつ、これからの十字の園は、「賢く、雄々しく」「大胆に」「夢と希望」をもって新しい時代を築いてほしいものです。

理事長 平井 章

浜松十字の園

キリスト教福祉とは何か ～過去・現在・そして未来へ～
 浜松十字の園
 永田昌代 寺田幸子 瀧美智子 内山律子 森 哲文 小松大祐
 萩田妙子 富田健義



まとめ

キリスト教福祉とは・・・！！

聖書の教えに基づき、一人一人分け隔てなく尊重し、教えに添って、互いに支え合い、「喜び」や「悲しみ」などの感情を分かち合っていくこと。そして、様々な状況下において困窮している人に、寄り添い、働きかけ、心安らげる場所を築いていくこと。

今後のキリスト教福祉で
 変えることのできるものと変えることのできないもの

○変えることのできるもの

- ・利用者の住環境を整える物理的なもの
- ・制度に沿った規則やマニュアル、ルール等
- ・研修などにより、ケアの質・接遇

○変えることのできないもの

- ・その人の、その日その時のニーズに応じていく姿勢
- ・過去から行ってきた礼拝や儀式・イベント
- ・過去から引き継がれてきた伝統や精神・価値観

御殿場十字の園

2018十字の園大会御殿場十字の園



山下八重子 武山幸浩 池田瑠美 吾妻正也



宮地秀明 福原唯 千田晶子 武藤繁生 勝俣和也

絶対に変わらないもの変えてはいけないもの
 それは・・・。

- ▶ 創設当時ハニ姉妹が神様の力でやっていたと十字の園を作り、祈り今がある事。十字の園の歴史・精神。
- ▶ これまで十字の園の運営に携わった信仰者の祈りの先に今がある事。そこに今私たちがいること。そして次の世代に十字の園精神をつないでいくこと。

変えられるもの変えていくもの・・・。

- ▶ 十字の園の歴史を一人ひとりがもっと知る必要がある。誇りを持って働ける職場にしていこう。
- ▶ 地域の人に必要とされる「十字の園」になる！

「キリスト教福祉」＝「十字の園精神」



「十字の園人」

御殿場十字の園のストロングポイント

職員が愛をもって働いていること

地域に必要とされている施設であること

伊豆高原十字の園

2018年度 十字の園大会
 伊豆高原十字の園



岩本佑太 鈴木貴雅 西島一恵 重永仁美

■キリスト教福祉

・行為の無いキリスト教福祉は無い。
 (理論ではない。)

・想いを持って「実践」することで、
 はじめてキリスト教福祉となる。



■変えることのできるもの 変えることのできないもの

- 無償の愛を与えるキリスト教精神。
 - 創立当初から変わらずに引き継がれ、これからも不変性を持って継続しなければならない。
 - 時代の環境やニーズに応えるために事業規模の拡大や制度に対応してきたことは、変えることのできない精神的基盤の土壌があることで、変えることのできたこと。
- 変えることのできない精神的基盤があることによって、時代の変化に対応するため、変えることのできるものが成り立つ。

アドナイ館

「ちいさなごに」 ～十字の園で働くということ～

アドナイ館

発表者 河出雅代
協力 赤池克始子
豊田くみ子
アドナイ館職員



「キリスト教精神に立って」運営されている十字の園で働く中、その時々感じた事、考えた事、学んだことをお伝えします。

- ・就職浪人を免れる ありがとう十字の園!
- ・どっちがお姉さん?! — ディアコニッセの姉妹たち
- ・「アーメン」が言えなくて。
- ・十字の園は「中の下」?
- ・十字の園大改革 介護保険がやってきた。
- ・理念を伝える
- ・職員も大事にしてほしい!
- ・讃美歌「ちいさなごに」

ふり返ると歴史の中で支えている職員の小さな働きにキリスト教精神を見る事が出来るのです。

○キリスト教精神は、十字の園で働く中に知らず知らずの内に肌から染み込み、根付いているのです。

しあわせのスパイラルを生み続けるために

- ・働く人たちは十字の園の精神を素直に認めて働きましょう。
- ・一人ひとりの思いを行動に表わしましょう。
- ・小さなやさしさを相手に届けましょう。

松崎十字の園

キリスト教福祉とは

松崎十字の園



佐々木正章 渡邊治郎 中川修大

利用者にとって『善き隣人』でありたい私たち

『善き隣人』

とはどういうもの?

『その人の悲しみを自分の事のように感じ
一緒に悲しむ』
『その人の喜びを自分の事のように感じ
一緒に喜ぶ』

人に寄り添い、人のことを思う

共に生きる

キリスト教福祉

伊東市立養護老人ホーム平和の杜

十字の園大会2018

平和の杜



佐久間光一 太田優香 鈴木みどり 山田敬紀

岩澤誠太郎

キリスト教福祉って何だろう?
変えることのできるもの、できないもの



平和の杜の応え

神 ⇒ 自然や世界

信仰心 ⇒ 「ありがたい」

ひとりひとりが考え、「良い生き方」を問い続けよう!

十字の園職員として福祉に携わっていることの
意味を問い続けること。



第2アドナイ館

2018年度 十字の園大会 in松崎

キリスト教福祉って何?

～変えることのできるもの、
変えることのできないもの～

細田滋
丸山隆司
山村葉子
大橋ひろみ
鈴木淳司

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」

十字の園全体が運命共同体

ヨハネによる福音書 第15章5節より

中心はイエス様、その周りにお年寄りがいて、その周りに職員がいる。

そしてその周りに職員の家族、そして地域があります。

礼拝は、ほっとタイム

礼拝は、神の前に「介護する側」と「介護される側」が平等の同じ人間同士である事を確認する場。

基本的な事ですが、自分を整えて仕事に向き合う姿勢を正す時間です。

「その人」とは…利用者様やその家族

「愛」とは…「その人」に対して思いを馳せている
全ての時間

「犠牲」とは…やらなくては、という義務や義務感

「喜び」とは…安らぎ

「愛」を以て「自由と平等」を守ることが、利用者様方や職員自身の「喜び」となる。

キリスト教福祉について、7施設の発表を聴き講演を行って下さった増田樹郎先生、高木誠一先生、中村晴信先生のお話を受けて、得られた一つの答え。(職員が、新人職員にキリスト教福祉について、分かり易くお話をするために)キリスト教福祉とは

「命の営みに関わる事、命の営みを見る事。それは、人それぞれの人格(利用者のお一人おひとり、共に働く仲間、自分自身)を大切にして、イエスキリスト(聖書に書かれているイエスの福祉の業、法人・施設の先輩たちが行った利用者への関わりとその思い)に倣い、利用者との関係(神のはたらき)の中で、様々な物語を紡ぎ出す事。それらに心を留める、そして行う事をいう。」

変えられるもの、変えていくもの……「頑なな心(自我)」

変えられないもの、変えてはけないもの…「一人ひとりの存在を大切にする心(愛)」

文責 松崎十字の園 施設長 三條洋二

【ほそえ市民ふれあい広場に参加】

アドナイ館 施設長 上野貢一

10月21日（日）、浜松市北区役所駐車広場で、細江地区社会福祉協議会主催の「ほそえ市民ふれあい広場」が開催されました。昨年、NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」が放映され、みをつくし文化センターが「大河ドラマ館」になるなど、浜松市が全面的に応援したこともあり2年振りの開催でした。細江保育園の鼓笛隊、劇団おはるちゃん、Mr.マジックショー、TEAM BLEND A(フラダンス)、九重太鼓等の催し物があり、出店は、たこ焼き、焼きそば、五平餅、みかんの販売等、施設や団体が思い思い出店して



ていました。

アドナイ館は、細江デイサービスセンター職員が中心になり、毎回バザーで参加しています。今年も、入居の皆さんや職員から、衣類や、陶器、本等多くの物品を提供していただきました。高齢者、家族づれ、何度も足を運んでくださる方もいて盛況でした。43,590円の売り上げがあり、収益は毎年カメラ等備品の購入に充てさせて頂いています。



【浜松地区総合見学会開催】

第2アドナイ館 施設長 鈴木淳司

浜松地区では10月19日（金）に地区全体の取り組みや事業内容を、地域の皆様やケアマネさんに知って頂こうと総合見学会を実施いたしました。

開催に合わせて認知症デイサービスのんきでは見学に来られた皆様に豚汁を振る舞ったり、第2アドナイ館ではバザーを行ったりと、来てくださった皆様に見学だけではなく、色々楽しんで頂きました。

来場者の中でお名前を書いていた方が50名、その内25名の方がアンケートにご回答いただきました。“満足いただけましたか”との質問に対して、大いに満足19名 やや満足5名と高評価をいただきました。

ご意見としては、「見学会をこれからも続けてほしい」や「次回の時は、見学できなかった施設を見学したい」等、時間の都合で十分にご見学いただけなかった様子がありましたが、継続した取り組みが期待されていると感じられました。

こうした機会を設ける事で地域の皆様の“見てみたい”“知りたい”という思いに応えやすくなる事も分かりました。地域の意見と共に、職員の意見も含めて次回に生かして行けるように、今後も定期的開催し、地域の皆様に気軽にお越しいただける施設となる様に取り組んでいきたいと思っております。



【全職員協力で介護員養成研修】

御殿場十字の園 高木直也

私たち御殿場十字の園では介護人材確保、地域の介護力向上を目的として、2018年10月31日から11月29日まで介護員養成研修を開講いたしました。

開講する為の県への指定申請、様々な準備の為に担当の職員や事務所の職員が労してくださり、市の広報などによって募集をかけた所、男女合わせ6名の方々が申し込みをしてくださいました。

講師は宮島施設長をはじめ、各部署から27名の職員が担当しましたが、忙しい業務の中で時間を割き、準備や講義を行ったり、他の職員が業務のフォローしたりと決して楽なものではなく、まさに全員協力で10科目の研修を130時間、まるで全職員でマラソンリレーをするように研修が進められていきました。



私にとっていくつかの講師を担当した事は自らの介護を改めて学び直し、初心に帰る良い機会にもなりました。これからここで学んだ受講生さんと共に地域の介護の担い手として協力しあえることがとても楽しみです。

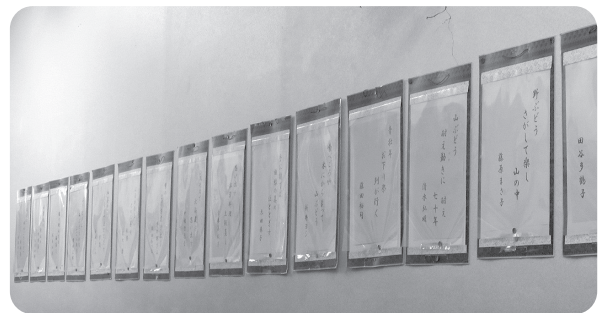


【和気あいあいと楽しく詠んでいます「俳句の会」】

伊東市立養護老人ホーム 平和の杜 佐久間光一

伊東市立養護老人ホームでは、多くのボランティアの方による様々な活動が行われています。その中から俳句の会を紹介します。

月に一度の俳句の会では、先生がお題として出される数種類の季語から、参加者全員が俳句を作って発表します。そして参加者一人ずつ今月の一句を皆で決めて、それが地方紙に掲載される、という流れになっています。



皆さんが詠まれた句は施設の廊下に張り出してありますので、お越しの際は是非ご覧ください。様々な感性に触れる事ができるかと思えます。

俳句作りが上手でもそうでなくても(テレビで見たままの句が地方紙に載りかけたときがありました…オリジナルでお願いします)、楽しく和気あいあいとした空気が、皆が集まって来る原動力となって、今月も俳句の会は開催されています。

西日本豪雨災害支援募金のご報告

2018年7月6日、降り続いた記録的大雨により岡山県・広島県を中心とした西日本で大規模な水害が発生しました。この西日本豪雨災害を受け、十字の園では被害を受けた皆様へ少しでもお力になれるよう、「西日本豪雨災害支援募金」を2回に渡り行いました。

支援募金の合計は、202,485円(1回166,346円、2回36,139円)。

支援募金は、静岡県が支援し、平井理事長が講演に行った呉市の支援のために送らせていただきました。お送りした呉市の総務課から以下のメッセージを頂きましたので、合わせてご報告いたします。

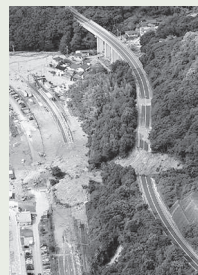
呉市総務課

このたびは大変ご心配をおかけしております。

このような中、さっそくご支援のお話をいただきまして、誠にありがとうございます。現在、復旧・復興に向けて取り組んでおりますので、今後とも暖かいご声援を送っていただけると幸いです。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

ありがとう 全国のボランティアさん がんばろう呉 の看板が見えます



2018
平成30年度

永年勤続者表彰名簿 (28名)

おめでとうございます。これからも元気で良い働きができますように！

勤続年数	氏名	施設名	就職年月日	勤続年数	氏名	施設名	就職年月日
35年	三輪真理子	第2アドナイ館	1981年2月26日	10年	田中政義	浜松十字の園	2008年4月1日
25年	北村さち代	浜松十字の園	1992年12月1日	10年	田中麻貴	浜松十字の園	2008年4月1日
25年	伊藤潔人	浜松十字の園	1993年4月1日	10年	加茂真理	浜松十字の園	2008年4月1日
25年	豊田くみ子	アドナイ館	1991年8月1日	10年	内村一俊	御殿場十字の園	2008年4月1日
25年	三條洋二	松崎十字の園	1992年6月1日	10年	猪越美穂	御殿場十字の園	2008年4月1日
20年	河合美代子	御殿場十字の園	1998年4月1日	10年	池田瑠美	御殿場十字の園	2008年4月1日
20年	宮島克利	御殿場十字の園	1998年4月1日	10年	小林淳美	伊豆高原十字の園	2007年5月1日
20年	天野蘭香	御殿場十字の園	1998年4月1日	10年	多田高穂	伊豆高原十字の園	2008年4月1日
15年	高橋雅昭	御殿場十字の園	2003年1月1日	10年	鈴木恵美子	アドナイ館	2008年4月1日
15年	山本靖	御殿場十字の園	2003年4月1日	10年	斎藤匡紀	松崎十字の園	2008年4月1日
15年	勝俣和也	御殿場十字の園	2003年4月1日	10年	斎藤喜代子	松崎十字の園	2008年4月1日
15年	日原輝江	松崎十字の園	2002年7月1日	10年	内田喜久	松崎十字の園	2004年7月19日
15年	宮本節子	松崎十字の園	2002年11月21日	10年	菊地理恵	松崎十字の園	2004年4月1日
15年	植木三和子	伊豆高原十字の園	2001年4月1日	10年	吉田勇	松崎十字の園	2005年2月1日

あ
と
が
き

インフルエンザ流行期の到来です。私も一度、身をもって体験しましたが、高熱が出て非常に辛い思いをしました。インフルエンザや風邪にかかりにくい体をつくるには免疫力を高める事が一番。「腸内環境を正常に保つ」「粘膜を強くしてウイルスの侵入や炎症を防ぐ」の2点が大切だそうです。発酵食品や植物繊維の多い食べ物、ビタミンAの多い緑黄色野菜などを食べてインフルエンザに負けない体をつくりたいと思います。(ながた)

皆様の温かいご支援を
お待ちしております!!

〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11
社会福祉法人 十字の園
理事長 平井章
振込口座 静岡銀行細江支店 普通 0015345

(掲載されています写真については、ご本人またはご家族の承諾を頂いています。)